

■ 説明会の開催結果概要

1) 住民説明会開催概要

日程	時間	場所	説明対象地区	参加人数
10/8 (土)	13:00~15:00	大沢小学校 体育館	大沢地区	204人
	15:30~17:30	織笠小学校 体育館	織笠地区	158人
10/9 (日)	13:00~15:00	山田北小学校 体育館	柳沢北浜地区・	230人
	15:30~17:30	山田南小学校 体育館	山田地区	267人
10/10 (月)	13:00~15:00	B & G海洋センター 格技室	船越地区・	111人
	15:30~17:30	船越防災センター	田の浜地区	78人
10/11 (火)	18:00~20:00	大浦漁村センター	大浦・小谷鳥地区	76人
10/12 (水)	18:00~20:00	豊間根生活改善センター	全地区	59人

計 1,183人

【住民説明会の様子】



10/8 大沢小学校



10/8 織笠小学校



10/9 山田北小学校



10/9 山田南小学校



10/10 B & G海洋センター



10/10 船越防災センター



10/11 大浦漁村センター



10/12 豊間根生活改善センター

2) 各地区で共通する質問・意見

【被災した従前の居住地について】

◆ 移転時の土地の買い取り・交換

今回、浸水した区域に住んでいた人から、移転するのに資金が必要となることから従前の土地が買い取りになるのか、高台の土地との交換になるのかという質問があった。

◆ 建築物の再建

半壊した家を修復して住んでいる人がおり、建築ができる区域とできない区域は決まっているのか、浸水が想定される地域へ家を建てる時に規制があるのかなどの質問があった。

【移転先の居住地について】

◆ 家屋の建築時期

居住地の造成がいつまでに終了するのかという質問があった。

◆ 災害公営住宅の整備

家を建てられない人が入居する公営住宅は、いつまでに、どこに、どれくらい整備されるのかという質問があった。

【防潮堤について】

◆ 防潮堤の高さ

防潮堤が山田湾で9.7m、船越湾で12.8mの高さで整備するという方針が県から出されたが、住民からはもう少し高くして欲しいとか、湾で一律ではなく地区ごとに高さを変えられないかという意見があった。

◆ 壊れにくい構造

今回、多くの防潮堤が破壊・転倒したことから、新しい防潮堤がどのような形式でどのような構造になるのかという質問があった。

◆ 水門・門扉の開閉

被災時に水門・門扉の開鎖のために亡くなった消防団員がいたので、水門・門扉の数を減らすことや防潮堤を乗り越える道路の整備に関する意見があった。

【国道45号・JR山田線の復旧について】

◆ 国道45号の復旧

国道が浸水するのであれば二線堤として嵩上げし海が見えるようにしてはどうかという意見があった。

◆ JR山田線の復旧

JR山田線や駅は今の位置で復旧するのかという意見とともに、被災時に踏切で渋滞したことから線路を円滑に横断できることが必要であるという意見があった。

【復興計画の進め方について】

◆ 迅速・確実な情報伝達

復興に関する情報はできるだけ迅速かつ確実に住民へ伝えることが重要であるという意見があった。

◆ 復興計画の目標年次

復興計画では山田町の復興をいつまでに終了させると考えているのかという質問があった。

◆ 小さな地区ごとに説明会の開催

詳細な地区の計画については、小さな地区ごとに複数回にわたって意見を聞く場を設けて欲しいという意見があった。

【その他】

◆ 県立山田病院の再建

県立山田病院はどこで再建されるのかという意見があった。

◆ 火災対策の強化

今回の震災では津波だけではなく火災による被害も大きかったことから、火災対策の強化に対する意見があった。

◆ 防災行政無線の再配置

防災行政無線が聞こえなかったことや、初期放送の内容について検討の余地があるのではないかという意見があった。

3) 地区別の質問・意見

【大沢地区】

- ・半壊した家を修復して住んでいるが、嵩上げする場合、土地や家はどうなるのか。
- ・大沢漁港公園周辺に数軒の集落があるのに防潮堤がないので、延伸できないのか。
- ・浜川目では防潮堤がかなり壊れているが、今と同じ場所に造るのか。
- ・大沢小学校から浜川目に抜ける林道整備が図面にあるが、大沢漁港公園周辺の集落から切り通しに抜ける道路があると良い。
- ・柳沢から袴田まで国道 45 号しかなく、通れなくなったら大沢と旧山田は隔絶してしまうのではないかと。

【柳沢北浜地区】

- ・津波が来たら財産を捨てて逃げるので、現在の位置で今すぐにでも再建させて欲しい。
- ・現在の土地を活用する 1 案だけでなく、高台へ移転する案を提示すべきである。
- ・国道沿いは商業施設で住むのは離れた高台と言う計画だが、車を使えない高齢者等は大変である。
- ・シミュレーションでは浸水しないかもしれないが、今回被災した人は多少嵩上げしたくらいでは安心できない。
- ・被災時に活用された林道赤松線の拡幅整備をしてはどうか。

【山田地区】

- ・中心市街地はどのくらい嵩上げをするのか。
- ・山田の商店街である北浜から境田あたりまでの商店街を集約してショッピングモールのような場所を造って入ることはできないのか。
- ・国道 45 号を堤防と一緒に嵩上げすることはできないのか。
- ・これから踏切の西側にも商店街が多くなり交通量も増えると思うので、長崎踏切を陸橋にし立体交

差にして欲しい。

- ・国道 45 号から役場までの道路が狭いので、避難路となるように拡幅して欲しい。

【織笠地区】

- ・高台を造成するのではなく、猿神や礼堂などの背後地を居住候補地としてはどうか。
- ・高台の開墾地を居住候補地として加えて欲しい。
- ・織笠川の水門は整備中であったが、事業は継続するのか。
- ・国道から町民グラウンドまでの区間に街灯がなく真っ暗なので、早く街灯を整備して欲しい。
- ・織笠橋と古川橋を早期に復旧して欲しい。

【船越地区】

- ・現在の船越では駐車場が付いていない家が多く、駐車場を別の所で借りている状態である。新しく造成される土地の宅地はどの程度の規模を想定しているのか。
- ・船越から浦の浜へ渡る道路は防潮堤の上を通るのか。
- ・高台の道路はいつごろ整備されるのか。
- ・船越小学校が被災しているが代替地はどうなるのか。
- ・田の浜では火事があったので防火対策もお願いしたい。
- ・ガレキからの悪臭と運搬トラックの砂埃を何とかして欲しい。

【田の浜地区】

- ・防災集団移転の移転先は役場で決めるのか、それとも住民の意見を聞いてもらえるのか。
- ・防潮堤ができた場合、道路は防潮堤の上を通るのか、それとも防潮堤に沿って整備されるのか。
- ・新しく高台に道路を整備する計画となっているが、権利調整はどのように進めるのか。
- ・今回の震災で孤立して、ヘリコプターによる救助があったので、ヘリコプターが着陸できる防災センターを再整備してほしい。

【大浦・小谷鳥地区】

- ・防潮堤ができると浸水しないので居住できるようになるというが、居住地が防潮堤用地となるため住むことができないのではないか。
- ・防潮堤が整備されるまで水門に土嚢を積んでももらえないか。
- ・小谷鳥と大浦を結ぶ高台道路を整備して欲しい。
- ・大浦街道入口付近の道路の舗装整備をお願いしたい。
- ・子どもたちが安全に小学校から家に帰れる道路を整備して欲しい。
- ・大浦地区に公営住宅を整備する計画はあるのか。